

令和6年6月28日



さかもと



さわやかに かがやいて もくひょうもって ともにあゆもう

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sakamoto/>

横浜市立坂本小学校 校長 松比良 聡夫

体験を学びにつなげる

梅雨入りと同時に、暑い夏が到来したように感じます。先月は5年生の御殿場宿泊体験学習や4年生の愛川宿泊体験学習など、各学年で体験的な学びを多く行いました。体験したことを他教科の学習とも関連させて、学習意欲を高め、学習の必要感をもてるようにしています。

5年生の御殿場体験学習は、社会科『高地の自然条件や農業』の学習にもつながります。体験学習での感動を、国語の授業で俳句に表現しました。子どもたちの作品を一部紹介します。

『梅雨の旅 みんなと冒険 一泊二日』『夏の夜 これはすごいな 星の数』

(親元を離れての宿泊は、子どもたちにとって冒険です)

『梅雨入りの 牧場でやる 乳搾り』

(富士宮市の牧場では、酪農体験をさせていただきました)

『肩を組む 炎を囲み 夏の夜』『夏の夜 歌っていたら 泣いちゃった』

『歌声が 夜の焚火で まいあがる』『梅雨の日に 輪になり歌い 火を見てる』

(キャンプファイヤーでは歌って、踊って、友情を深めました。)

『夏の夜 甘酸っぱい 恋バナ』『夏の中 3時に起こされ 目が痛い』

(夜はなかなか眠れなかった様子です)

『洞窟に 半ズボンで行き 固まった』

(鳴沢氷穴や富岳風穴は夏でも冷んやりしていました)



2年生の生活科では、「町たんけん」に行きました。通学路と反対方面には行ったことがない子どもも多く、初めての場所に目を輝かせていました。多数の地域の方、保護者の方にボランティアとしてサポートいただき、安全に探検を進めることができました。ありがとうございました。



国語の勉強で発見したことを伝える学習があり、町たんけんで見つけた事を保護者の人に伝えたいという意見が出て、思いをもって表現しています。

7月も子どもたちがわくわく、ドキドキするような学習を行っています。地域や保護者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。